

2011 年 4 月 24 日

「現れてくださる主」Ⅰコリント15：1～11

本日は、イースター（復活祭）です。

Ⅰ 福音によって救われる。

1. 「私は今、あなたがたに福音を知らせましょう。これは、私があなたがたに宣べ伝えたもので、あなたがたが受け入れ、また、それによって立っている福音です」：1。

まず自分の罪を認め、十字架と復活の主を受け入れる、信じる。それで終わりではなく、日々、福音、主の御言葉に立つことが大切。洗礼の時だけではなく、日々、祈り御言葉を読み味わい（ディボーション）、人生の真の土台である福音、みことばに立ち信頼して歩む。

2. 「また、もしあなたがたがよく考えもしないで信じたのでないなら、私の宣べ伝えたこの福音のことはしっかりと保っていれば、この福音によって救われるのです」：2。

「よく考えもしないで」→軽はずみな応答。気持ちの高まりの一時的な勢い（だけで主を信じる人は離れやすい）ではなく、よく御言葉を聞き、学び、御言葉の光と御聖霊の照明により自分の罪を自覚し、その罪のために主が死に復活された福音を信じ、日々福音のことはしっかりと保っている（日々御言葉を読み信頼する）人は幸いです。

Ⅱ 福音の内容

「キリストは、聖書の示すとおりに（偶然やたまたまの出来事ではなく、旧約聖書の示すとおりの成就）、私たちの罪のために死なれたこと、また、葬られたこと、また、聖書の示すとおりに、三日目によみがえられたこと、また、ケパにれ、それから一二弟子に現れたことです」：3～5。キリストの死は、目的のない敗北の死ではない→「私たちの罪のために」。私たちの罪の刑罰を身代わりに受け、すべての罪の償いをされた。私たちの罪とは＝「不品行、汚れ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、酩酊、遊興」（ガラ5：19～21）。主は、私たちのこれらの罪を負って死んで下さった。「葬られ」＝主のからだの死の事実を示す。「聖書の示すとおりに（復活も聖書の預言の成就）、三日目（日曜日の朝）によみがえられた」。

主の復活の意味＝①私たち人間の罪の報酬、結果である死（ローマ6：23）への完全な勝利！「神に感謝すべきです。神は、私たちの主イエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださいました」（Ⅰコリ15：57）。主を信じる者は、死んでも、たましいは天国に行き、主の再臨の時に栄光のからだによみがえる。ハレルヤ！②復活こそ、イエスが神であり、神の永遠の御子であられる事実を最終的に実証している（ローマ1：4）。③「主イエスは、私たちの罪のために死に渡され、私たちが義と認められるために、よみがえられた」（ローマ4：25）。この御言葉は、主の十字架と復活をつなげている重要な御言葉。主の復活は、「神が、ご自分の御子が十字架で死なれ、ご自身をささげられたすべての人の罪のなだめの供え物に完全に満足しておられる」事実を宣告している。御子が救いの御業を完成されたこと、私たちの罪が完全に償われたこと、ご自身がなだめられ、完全に満足しておられることを主の復活は宣告している。この意味で主は「私たちが義と認められるために、よみがえられた」と御言葉は語る。

Ⅲ キリストは、復活し、弟子たちに、そして私たちに現てくださり、いつもともにいてくださる。

1. 「キリストはヤコブに現れ、それから使徒たち全部に現れました。そして、最後に、月足らずで生まれた者と同様な私（パウロ）にも、現れてくださいました」：7，8。
2. そして私たちの罪のために死に復活された主は、今、天で父なる神の右の座で私たちのためにとりなしておられる大祭司である（「キリストはいつも生きていて、彼らのために、とりなしをしておられるからです」ヘブル7：25）と同時に、この地上にもおられ私たちに現れ出会う下さる。「見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにます」マタイ28：20。使徒たちには、目に見える姿でご自身を現され、パウロのは突然の天からの光を通してご自身を現された。

1. 現在の私たちには、どのようにしてご自身を現されるのか→①クリスチャンの家族、知人、友人、宣教師、牧師を通して。不思議な出会い、ちょうど良いタイミングにより。復活の主は、人々を遣わして私たちに現れて下さる。②御言葉を通してご自身を現される。③祈りの中で私たちの心に語り掛け、ご自身を現される。④色々な出来事を通してご自身を私たちに現して下さる。⑤教会は、目に見えるキリストのからだ。主は、教会を通してクリスチャンとノンクリスチャンにご自身を現される。教会の存在はとても大切。「神を見た者はありません。もし私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちのうちにおられ、神の愛が私たちのうちに全うされるのです」Ⅰヨハネ4：

12. 3. 父、子、聖霊なる神は、私たちを救い、新しくし、日々主の姿に変え続けて下さる。「神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に対するこの神の恵みは、むだにはならず…多く働きました。しかし、それは私ではなく、私にある神の恵みです」Ⅰコリ15：10。私も心から神に感謝したい！神の恵みがなければ、今の自分はいない。とっくに滅んで当然の者。しかし、私たちに対する神の恵みは、無駄にはされず、欠けの多い私、そしてすべてのキリスト者を変え成長させ続け用いて下さる。なんという恵み！すべての栄光は神に！私たちは土の器。しかし、神はへりくだる者、罪を告白し聖められる者を用いて下さる。

2. 十字架と復活の主は、どんな時にも私たちと共にいて力を与えて下さる。悲しい時、つらい時、苦しい時、落ち込んでいる時、もう駄目と思われる時、信頼を裏切られ非常に傷つく時も。「私の最初の弁明の際には、私を支持する者は、だれもなく、みな私を見捨ててしまいました。…しかし、主は、私とともに立ち、私に力を与えてくださいました。それは、私を通してみことばが余すところなく、宣べ伝えられ、すべての国々の人々がみことばを聞くようになるためでした」Ⅱテモテ4：16, 17